

学校だより



《めざす子ども像》
進んで考え、自ら学ぶ子ども
心豊かで思いやりのある子ども
ねばり強くがんばる子ども

令和3年11月18日(木) No.36

校長：須藤 美香 Tel：0880-24-0006

11月の生活目標：本をたくさん読もう



体験活動

体験活動の意義として「社会を生き抜く力の養成」「自然や人との関わり」「規範意識・道徳心の育成」「学力の育成」などがあげられます。

東又小では、主に総合的な学習の時間や生活科を他教科と関連させながら、見通しをもって計画的に各学年に応じた体験活動を行っています。

朝霧森林倶楽部の浜田さん、西土佐の田辺さん、平野さんを講師にお迎えして、ツリークライミング体験をしました。ハーネスを装着し、ループに足をかけることや足を下に踏み込むことなど昇り方をお習いし挑戦しました。子ども達はコツを掴むと器用にどんどん昇ることができ、いつもと違う景色を堪能しました。「高いところが怖かったけど、自分のペースで進むことができて楽しかったです。」など、感想も伝えることができました。



10月22日に稲刈りをしました。4月23日の粃まきからスタートした体験学習。田植えや稲の観察、そして今回の稲刈りを通して、食卓にご飯として口にするまでの農家さんの苦労や工夫もこれまで以上に理解できたのではないのでしょうか。窪田さんには稲が無事に育つよう、管理をしていただき感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。この餅米が、今度の東又祭りで餅投げに使われます。





4年生は、福祉について考えることを大きなテーマとしています。新型コロナウイルスの感染拡大が落ちついてきたので、宅老所「百花」の訪問を始めました。今回は2回目の訪問で、少し皆さんと打ち解けてきたようです。これからも交流を続けていきたいと思います。



3年生は、コンテナ生姜コンテストに向けて、JAの方や地域の鬼頭さんの力も借りながら栽培を続けてきました。いよいよ掘り起こしの日。みんなの世話のお陰で生姜が大きく育っていました。ノートに成長の記録を取りながら大切に育てました。



1・2年生は、生活科の学習でサツマイモを育てました。どのくらい大きくなったかワクワクしながらお芋ほりをしたことでしょう。そのお芋を使って、お芋ドーナツづくりに挑戦をしました。蒸したお芋をみんなでつぶしたり丸めたりと、スイーツ屋さんになったようです。揚げたてのお芋ドーナツのお味は、格別だったことでしょうね。



いよいよ、二十二日土曜日は、東又祭りです。今年度も規模を縮小し、家族限定とさせていただきます。ご協力をよろしくお願い致します。どの学年も保護者の皆様に学習したことをしっかりと伝えられるよう練習に励んでいます。お楽しみに。発表中は静かに観ていただけますよう合わせてお願いします。